

部長挨拶 飯野部長

2020年から始まったコロナの脅威はまだまだ衰えを知らず世界は未曾有の危機に見舞われたまです。国内でも昨年4月に続き今年の1月にも緊急事態宣言が発令され長きにわたり日本経済にかなりのダメージを与え続けています。

青年部の昨年度は2月に行った全体協議会の後は10月の臨時全体協議会まで全ての事業が中止となり大きな担いの一つであるメンバー同士との交流が一切取ることができませんでした。本来青年部で得られるはずの経験・体験を一切提供出来なかったことをメンバーの皆様には誠に申し訳なく思っております。

現在はこれに社会的にも大変厳しい環境下ではありますが地域経済を担う企業の一員として、また、地域社会の根幹を担う青年経済人として、コロナに負けることなく積極的に前を向いて地域を元気にする原動力とならなければならないと考え行動します。

まずはコロナ禍という環境下で、我々のような団体でもメンバー同士が交流できる事業形態があると思いますのでそれを模索し実行します。役員会等で行われているZOOM等による会合の開催だけでなくフレキシブルに考え様々な手法でメンバー同士の交流を深めたいと思います。また来年は川越市が市政施行100年の記念すべき年でもあります。これまた川越市とは小江戸川越ハーフマラソンで協働してきましたが100周年を祝う新たな事業も出来たらと考えています。また昨年開催される予定であったオリンピックも今年開催されるということで青年部としてオリンピックを盛り上げる活動もしたいと思っております。

そして昨年度から青年部として取組んでいるSDGsについてもこんな環境下であるからこそ誰一人も置き去りにしないという根本的な考え方を重視し今後も更に積極的に推進していきます。

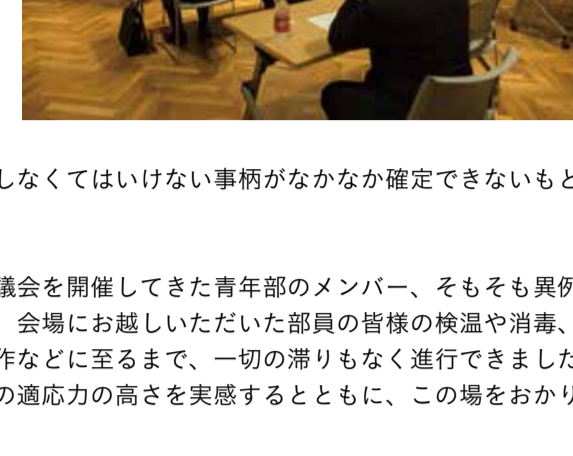
2019年に魅力創造をキーワードとして活動を始めましたがコロナの影響により志半ばで終わってしまっています。今後2年につきましても魅力創造をキーワードにかかげこんな時だからこそ我々にできることを行うことで青年部そして皆さんの魅力を創造し自分たちと組織の価値を高めてまいります。

これからまだまだ厳しさを増すこともあると思いますがメンバーの皆様とともに商工会議所の一員として商工会議所法第6条に定められる『商工業の総合的な改革発展を図り、社会福祉の推進に資する』この目的に合致する活動展開を行ってまいりたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



第24回全体協議会活動報告

去る、2020年10月13日(火)に「第24回全体協議会」をウェスタ川越にて開催させていただきました。



新型コロナウイルス感染拡大により、通常の交流会が開催できない中で、2020年度初めての招集が全体協議会となってしまう、もちろん例年通りの開催とはいかず、商工会議所からの要請で1部制のみ(1時間以内)との時間制限であったり、ウェスタ川越のホール収容人数制限(50%)であったり、リアル参加とリモート参加のハイブリッド形式での開催であったりと、直前まで内容全てが経験した事のない設定であり、また、感染者数拡大の影響により日々変化する状況を常に意識し、部員の皆様のお仕事への影響なども考慮しながら、情報発信室会議自体も満足に行えず、決断しなくてはいけない事柄がなかなか確定できないものかしい日々が続いた事を深く記憶しております。

しかし、蓋を開けてみればそこは幾多もの環境や状況で交流会・協議会を開催してきた青年部のメンバー、そもそも異例尽くしの全体協議会でしたので多少のトラブルは想定していたものの、会場にお越しいただいた部員の皆様の検温や消毒、席割から議事進行、また、リモート参加の部員の皆様の環境設定や操作などに至るまで、一切の滞りもなく進行できました事に對して良い意味での拍子抜けを経験し、あらためて青年部の皆様の適応力の高さを実感するとともに、この場をおかりしまして深くお礼を申し上げます。

全体協議会の進行内容としては、第1号議案にて時期部長承認についてと第2号議案の時期役員承認を行い、統投となる飯野部長からは熱いご挨拶と意気込みをいただきつつ、質疑応答では普段見ることができないような飯野部長の素朴な一面を垣間見る事もでき、1時間という時間制限が功を奏し、非常に濃密な時間を部員の皆様と共有できたと感じております。

今回はいろいろと大変な設えではありましたが、その経験から得られたものも非常に大きく、良くも悪くも少しずつこなれてしまっていた交流会や全体協議会への新たな可能性を見出す良い機会となりましたので、今後の交流会での各地区の斬新なアイデア合戦がとても楽しみにになりました。

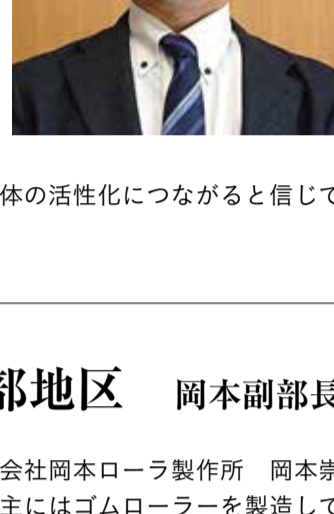
前年度 情報発信室 幹事 鈴木 寛

西部地区 副部長 藤井 靖

この度川越商工会議所青年部西部地区副部長を拝命いたしました藤井靖です。歴代副部長を思い浮かべると私ごとで務まるのかと少々不安を感じておりますが、篠原前副部長の「全力でサポートするから」との力強い言葉に勇気を得て、飯野部長のもとで力ではありますが青年部活動に貢献できるような動も所存です。

さて、西部地区は約60事業所が所属する青年部最大の地区であり、全体交流会や地区会の出席率も高く会員同士の結束力も高い地区です。歴代の西部地区副部長が築かれたこの良き伝統を継承しつつ、コロナ禍を超えた先の未来を見据えた青年部活動ができなにかと西部地区役員を中心に模索したいと思います。

青年部の原点は各地区活動であり、各地区が盛り上がりなければ青年部全体の活性化も成しえないと考えます。西部地区もこの一年間、活動がままならない状況が続きましたが、徐々に許容できる範囲での活動を再開し、まずは本年8月に予定されている担当全体交流会に向け、より強い西部地区の結束力を発揮できればと思います。それが青年部全体の活性化につながるかと信じて、二年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



南部地区 岡本副部長

こんにちは。南部地区副部長に就任いたしました株式会社岡本ローラ製作所 岡本崇です。仕事は工業用ゴム製品の製造販売を行っており、主にはゴムローラーを製造しております。コロナウイルスの影響により昨年から大変な状況下におかれております。前期は南部地区幹事を務めておりましたが、青年部としてもほとんど活動が出来ていない状況でした。今年度もしばらくは難しい状況が続くとは思いますが、その時の状況に合わせた皆様に活力が生まれるような場が出来ればと考えております。肥沼相談役や飯野部長も南部出身であり、南部の歴代副部長は素晴らしい方ばかりなので、プレッシャーを感じておりますが、今まで同様に南部地区の勢いを引き出して青年部を盛り上げていけるよう幹事とともに努めてまいります。至らぬ点も多いかと思っておりますのでご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

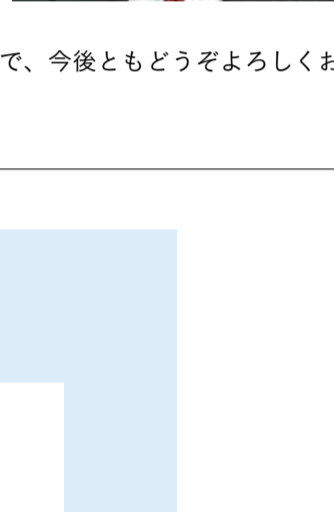


北部地区 三上副部長

新たに北部地区の副部長の任を拝命いたしました、三上工務所の三上と申します。昨年より世界中を巻き込み、未だ収まる兆しの見えないコロナ禍の中で、あらゆる活動が制限を受け人々の交流が思い通りにいかないのが現状ではないかと思えます。青年部という、交流と、学びの機会を得られる団体の一員であるの、その機会が奪われている現状に危機感を覚えずにはられません。

しかしながら、皆さんの動く環境の中でも、現状を乗り越えるべく多種多様なツール・方策がとられているかと思えます。そういった事例を活用し、新たな交流・学びの場を提供するべく、地区活動を通して考えていきたいと思います。その内容や方策が今後の青年部の活動、または皆さんの事業や商工会議所の活動に少しでも参考になれば幸いです。

部会員相互の交流と商工会議所及び会員企業の皆さんの発展に少しでも寄与できる、そんな地区活動ができることを目標としつつ、微力ながら精一杯務めさせていただきますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



テーマ「〇〇〇〇」

「そんな時期か！」

「もうすぐ入社だよ！」

「第一印象大事だもんね！」

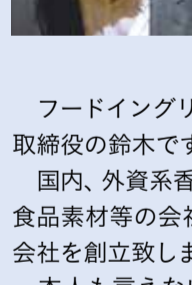
「散髪に行っただしスーツも買った！」

「大丈夫だよ」

「なんか緊張してきた…」

リモートでした。

New Face 新入部員紹介



北部地区
フードイングリディエンツファーム株式会社
代表取締役
鈴木 健彦さん

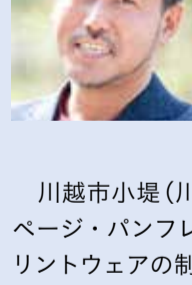
牧場の様に広く取り扱える、そして副社長の実家が農業、酪農をやっていた事もありこの社名に致しました。

主な仕事内容はこれまでの経験を活かし国内外スーパーのプライベートブランドや外食、フードコート向けの食品、飲料、健康食品の開発、製造と果汁、健康食品素材原料の販売を行っております。

川越は生まれ育った街なので何か地元に貢献できることにはないかと思い商工会議所、商工会議所青年部に入らせて頂きました。

食品、食品添加物等でお困りの事がございましたら是非お声がけください。

今後ともよろしくお願い致します。



西部地区
株式会社佐蔵ファクトリー
代表取締役
佐々木 龍児さん

ました。

また、鶴ヶ島ロータリーでも10年間所属していたので、どこかでお会いしたことのある方もいらっしゃるかもしれません。

家族構成は妻・長女(6歳)二女(4歳)長男(2歳)と、賑やかすぎる毎日を送っており、趣味でドラムを叩きます。青年部バンドなどございましたら是非お声がけください☆

前職で居酒屋・漫画喫茶・麻雀屋等、自分のお店の売り上げを上げるために自分で販促物を作成し、いつの間にか本業になっていったという経緯から「本当の意味での現場目線」で販促活動をデザインいたします。

どうぞ宜しくお願いいたします。



東部地区
SUP COFFEE STAND
オーナー
村中 由紀さん

その他にもオーガニックのチャイ、自家製シロップを使ったレモネードやハンドドライヤーで淹れるコーヒーなどコーヒーが飲めない方、お子様に優しいメニューとなっております。

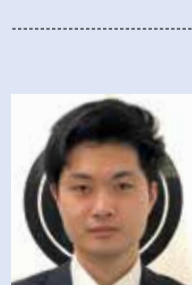
パウンドケーキ各種、チーズケーキは保存料不使用。季節限定の焼き菓子もございます。

豆売り、ドリップバッグ販売、ギフト販売も各種対応しております。

当店は年代性別問わず、色んなお客様にご利用いただいております。

チェーン店のコーヒー屋さんにはないSUP時間を楽しんで頂けたらと思います。

これからも地域の皆さまに愛されるお店を目指して行きますので、よろしくお願い致します。



西部地区
有限会社クイック
代表取締役
長谷川 翔太さん

趣味はゴルフ(最近始めました)・サッカー(高校までサッカー部)と運動系が多いです。

音楽では、Mr.Childrenが好きで、大きな仕事の前や気分を上げたい時など気合を入れる時によく聞いています。

仕事では、まだまだ未熟者で日々勉強の毎日ですが、保険のアドバイザーとして立場に成長できるよう、上手いかわずいめにげそうな時たくさんありますが、自分の意識を強く持ちこの業界で頼られる存在になるため頑張っています。

青年部では、川越で仕事をしてくる身として、なにか一つでも川越の良いところを知ってもらえるように、川越に還元できるように、川越がもっと良い街になれるよう活動していければと思います。

フードイングリディエンツファーム株式会社、代表取締役の鈴木です。

国内、外資系香料会社、食品添加物会社、食品原料、食品素材等の会社で働き昨年7月に研究開発の同僚と会社を創立致しました。

本人も言えない位、社名が長いですがフードイングリディエンツ(食品、食品添加物)をファーム(農場、

本年3月まで鶴ヶ島市商工会青年部に部長としておりました。商工会青年部は45歳で卒業となり、この度川越商工会議所青年部へ入会をさせていただきました。

SUP COFFEE STAND オーナーの村中です。

当店は2019年8月に、本川越にオープンした7坪程の小さなコーヒースタンドです。

メイン通りから一本入った裏川越にございます。

当店の一番人気は、カフェラテ。国分寺にあるLife Size Cribbe オーナー吉田さんが焙煎した豆で抽出したエスプレッソを使用しています。

2020年11月に商工会議所 青年部に入部いたしました。

川越の保険代理店(有)クイックの長谷川です。

幼少期からずっと過ごしてきたこの川越で、川越の為に活動している「青年部」という組織を知り、興味を持ち入会させて頂きました。

その日、いつもと違う速くのスーパーに行く、娘は入口付近でキヨロキヨロと何かを探しています。「どうしたの?」と聞くと、娘は「シュッシュがない」と一言。入口に消毒液がなかったのです。私は消毒液がないことに気が付かなかったのですが、娘はいつものルーティン(シュッシュ)ができなくて困っていました。私が「中で探そうか」と娘を促すと、入ってすぐ右手に消毒液がありました。娘はそれを見つめて小走り「シュッシュ」。続けて「こっちに手を出して!」と私を呼びます。娘は娘が真剣な面持ちでこちらを呼ぶ姿を見て「娘の成長を感じました。」

(社内での話をすると、アルコール消毒液を押すことを「シュッシュ」と言う人もいました。皆さんのご家庭ではどんなふうに言っていますか?笑)

川越商工会議所青年部 情報発信室 幹事 大谷大輔

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大が始まってから一年が過ぎました。この一年で新しい常識やマナーが生まれ、大人だけでなく、子どもたちにも新しい生活様式が浸透してきたと感じております。

例えば、我が家を3ヶ月1年生の娘がいます。娘と一緒に近所とのスーパーに行く、娘は入口にあるアルコール消毒液で自分の手を「シュッシュ」と消毒します。次に「手を出して」の扉に言い、私が手を伸ばすと、ポンプを押して「シュッシュ」と消毒してくれます。

川越商工会議所青年部
登録事業者数 182社
(令和3年4月5日現在)

◎川越商工会議所青年部 会報誌 『鐘の音』 第72号
令和3年6月発行
編集・発行責任者
川越商工会議所青年部 情報発信室 副部長 都丸真理
◎情報発信室
幹事：大谷 大輔／櫻井 良樹
松本 勇一／川口 眞穂／滝本 麗華／佐々木 大志／川畑 正和